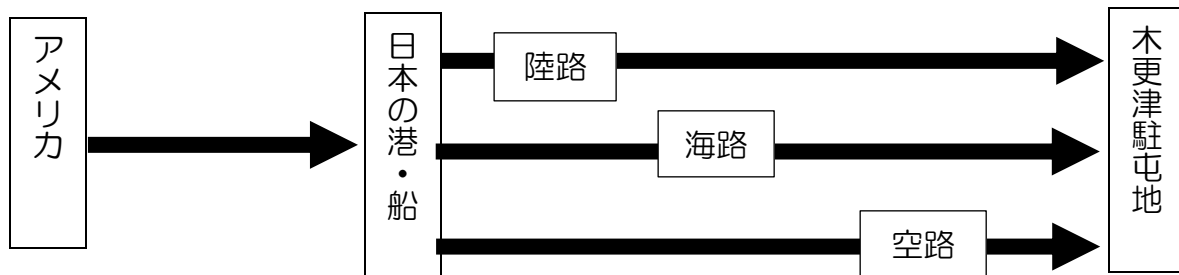


航空法に基づく飛行とは

A) 陸上自衛隊オスプレイは、どのようなルートでアメリカから木更津駐屯地へ



B) 製造された航空機が自衛隊に納入される前は、自衛隊機とはみなされない。この際の許可の判断基準 国土交通省の見解

防衛省に納入される前の国産航空機について、航空法第 11 条ただし書きの試験飛行等の許可申請がなされた場合にあっては、当該機の使用目的に鑑み、防衛省が発行する「航空機の安全に関する証明書」の他、飛行方法や飛行地域等を確認して許可を行っている。

C) 2012 年 9 月 19 日 日米合同委員会議事録（抜粋）外務省のHPより

日本国政府代表 MV-22が、既存の場周経路からオートローテーションによって安全に普天間飛行場へ帰還する能力を有することを確認したい。

合衆国政府代表 両エンジンの故障という、オートローテーションが必要となる極めて想定し難い事態において、パイロットは飛行場内に安全に帰還するためのあらゆる措置をとる。